



河小だより



四日市市立河原田小学校
学校通信 第32号
令和5年 1月10日(火)
文責 校長 鳥居 純樹

新年、あけましておめでとうございます。新しい一年を迎えました。子どもたちも新しい目標や希望をもって新年を迎えたことでしょう。

子どもたちの希望を夢で終わらせないように、少しでも実現できるように職員一同教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。今年も教育活動に対してご協力、ご支援をよろしくお祈ひします。

三学期始業式

二学期の終業式は、自宅からのオンライン参加をさせていただき、ご迷惑をおかけしました。直接子どもたちと会うことができませんでしたが、教室で静かに話を聞く様子やいつもと変わらず元気な様子を画面越しではありましたが、感じることができ、二学期の最後を締めくくることができました。

三学期も感染症対策のため、オンラインでの始業式となりました。始業式では、子どもたちに以下のような話をしました。

令和5年初日の出！



三学期の始めにあたり3つのことを子どもたちに話しました。

① 友達を大切にしよう

三学期で今の学年が終わり、4月になると新しい学年に進級します。6年生にとっては、小学校生活最後の3カ月となります。

クラスの人みんなが「楽しかった」と心から言えるように周りの人の気持ちを考えながら行動できるようにしてほしいと思ひます。クラス全員が3月には「最高のクラスだった」といえるようにしてほしいと思ひます。

② 自分だけでなく、周りの人のためになる目標設定を

昨年日本だけでなく世界中が熱狂したサッカーW杯の話をしました。日本代表選手は、世界の強豪ドイツ、スペインを破り予選を1位で突破しました。その快進撃はもちろん、素晴らしかったのですが、それと同様に世界中に称えられたのは、日本選手のロッカーのきれいさとサポーターの試合後のごみ拾いをする姿です。試合が終われば、スタジアムをきれいにするという日本人の素晴らしさが他国にも広がっていきました。自分たちだけが良ければいいのではなく、みんなで使う場所をきれいにするという行動、自分だけでなく周囲の人の喜びになる目標を持ち、行動できる人になってほしいと思ひます。

③ 時間を大切に

三学期は登校できる日数は52日と大変少ないです。6年生については、49日で卒業です。一日一日、それぞれの活動の時間を大切にして、過ごしてほしいと思ひます。何もしていなくても一生懸命努力していても時間は流れていきます。残り少ない今の学年を大切にするためにも、少しの時間でも全力で取り組める姿勢が大切になると思ひます。自分のために、みんなのために空いている時間を活動できるようにしてほしいと思ひます。

新型コロナウイルスによる学級閉鎖の基準について

年末年始は、行動制限がなかったため、帰省をしたり、旅行をしたりして過ごされたのではないのでしょうか？行動制限がなくなりましたが、年末年始も新型コロナウイルスの感染が収束したわけではありません。With コロナで感染対策しながら以前の生活や行事に取り組んでいくのが今後大切になってきます。

新型コロナウイルスの感染防止に対して教育委員会の指示により学級閉鎖が本校でも何回かありましたが、昨年12月基準が変わり、三学期から以下のように変更になりました。

- ◎家庭内感染を除く感染経路不明の感染者が同一クラスに複数名いる場合
- ◎学級内の陽性者が5名に達した場合
- ◎学級閉鎖期間中に同一クラスで新たに感染経路不明の感染者が発生した場合は学級閉鎖を延長する。



【1月から】

- ★感染経路不明の陽性者3名以上発生し、かつ同一クラスの陽性者が5人に達した場合
- ★学級閉鎖の延長はしない。

寒さも厳しくなり、インフルエンザの流行も心配されています。学級閉鎖の基準は変わりましたが、感染症対策については継続して検温や消毒、換気などをして取り組んでいきます。

子どもたちが元気な場合でも、同居家族に発熱等の風邪症状の方が見られる場合には、登校を控えるようにしてください。登校後風邪症状の訴えや発熱があった場合には、お迎えに来ていただきますようお願いいたします。

学校での感染を広げないためには、一人一人が「感染しない、感染を広めない」という意識や行動が大切になります。家族の方も含めて健康管理をしていただくとともに、体調が思わしくない場合には無理して登校しないようにするなどしていただき、体調管理、感染症対策へのご協力いただきますようお願いいたします。

子どもたちの感染はもちろん、同居家族の方が感染された場合にも学校に連絡していただきますようお願いいたします。子どもたちには自宅療養や自宅待機する期間、リモートでの授業への参加や課題等を担任からお知らせします。

行動制限のない現状では、誰が新型コロナウイルスに感染していてもおかしくない状況です。感染した人が悪いと責めるのではなく、感染した人が安心して登校できるように支えていただければと思います。

6年生が地域の方にお世話になって作った竹灯りが河原田神社と大治田神明社に年末年始に飾られていました。子どもたちが地域の灯になっていることが感じられました。子どもたちが今年も健やかに成長できるように地域や保護者の皆さまも見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

